広報あいかわ

合川町広報
No.192
発行日・47、5、25(2,700部)
発　行・秋田県合川町
　　合川町役場
編　集・企　画　課

わたくしたちの町

人口	男	4,762人
	女	5,184人
	計	9,946人
4月中の転入		38人
〃 転出		29人
世帯数		2,208世帯

（5月31日住民登録人口調）

只今の交通事故	
発生	7件
死者	1
傷者	8

（合川町）

若い世代ほど多い事故発生率

あなたの心のブレーキは？

毎日、テレビ、紙面をにぎわしているのが、悲惨な交通事故、一人のために家庭をも破壊してしまう恐ろしい交通事故。

森吉署管内で発生した事故を統計的に分析してみました。この数字が〇になるのはいつ……。

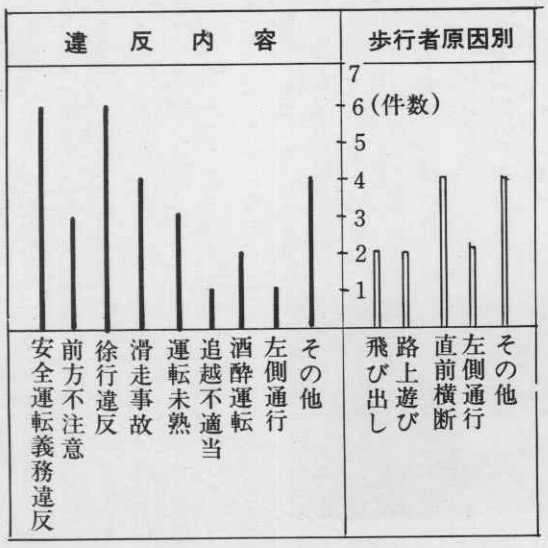
今年一月から五月まで、森吉署管内で発生した事故は三〇件、死者一人、傷者三十二人となっております。

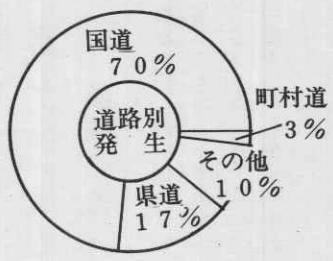
これを合川町で見ると、七件発生、死者一人、傷者八人。

これらの事故の原因別は、運転者側が安全運転義務違反、徐行違反、運転未熟とドライバーの初歩的な安全運転意識が欠けており、歩行者側では、路上遊び、飛び出し、左側通行と交通ルールの基本的なことが守られていない事を物語っています。

また、数字にはあらわれていないが依然として多いのが、酒酔い運転・無免許、スピード違反の「交通三悪」でこれらによる物損事故・交通違反の検挙は後を絶ちません。

加害者の年代別では、若い年代になる程事故発生率が多くなっており、二〇代では全体の四〇%となっております。





これは、若さによる運転への過信・慎重さが欠けることをしめし、若い人への大きな忠告となっています。

道路別発生では、国道二十一件、七〇%、県道は五件十七%で道路がよくなる程、事故が多くなっており、道路のよさとともに、心のブレーキもゆるめっぱなしが大きな原因となっているようです。

このように細心の注意・安全運転を怠ったために起った事故が大半を占めています。いったん事故を起すと、本人はもとより、家族に襲いかかる悲惨な運命は、はかりしれない程大きく、地獄の苦しみが一生まとわりつく。そして自分に法律の過失はなくても、まきぞえで死んでいった被害者。「次はあなたかも知れない」ひとごとではない。

まさに交通戦争です。

「走る凶器」は、今すぐにも「文明の利器」に戻さなければならない。一人一人の努力によって戻すことができるのです。

交通事故の絶滅

強力な町民運動を展開

町としては、事故発生増加に対し、この二十六日交通安全対策協議会を開くことになっております。

今年の重点事項としては、地元警察と連絡を密にする。交通安全施設の総点検、充実、住民への交通安全認識の普及となっております。

それにもまして、絶対に必要なことは、町民一人一人が事故防止の絶滅を期す意欲をもつことが、大切で、あるとの認識にたち、町民運動としてこの運動を強力に推進することにしています。

〔警察署から〕

町内の事故が多発の傾向にあります。中でも交通三悪の飲酒運転が多くなっていますので、今後の取り締りは、飲酒運転の絶滅を第一に進めます。

さらに、大切なことは、親は子供に注意することはもちろん、まず自らの行動で示めし、自分だけは絶対に事故を起こさない、地域の子供は大人の責任で守るなど、積極的な姿勢に立つことが、おのずから事故減少につながる事になります。

住民のみなさんも一層のご協力をお願いします。

六月定例町議会

農業委員定数減など16議案可決

五月二十五日に招集された六月定例町議会は、二十七日まで三日間の会期で審議され、提出された十六議案を可決して閉会しました。

主な議案の内容は次のとおりです。

合川町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例の制定について

合川町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を「十五人」とあるを「十人」に改めたもの。

なお、この条例は公布の日から施行し、次の農業委員会委員の一般選挙より適用することになります。

合川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

保険税の最高限度「八万円」を「九万円」に改めたもの。

合川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の制定について

最近の生活状況の変化から、廃棄物の性格が大巾にかわっております。

そのため従来の清掃法が全面的に改正になり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律ができています。

それに伴なう条例の制定。

昭和四十七年度合川町一般会計補正予算（第一号）

これまでの予算総額に歳入歳出それぞれ八百八十三万一千円を追加し、総額を六億八千三十万円としたものです。

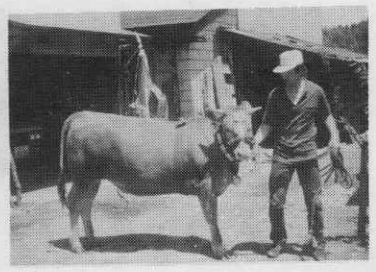
＝北秋田こ牛品評会＝「うらひめ号」に栄冠

団体賞は合川町農協が獲得

六月八日鷹巣町北秋田家畜市場で開かれた、第八回北秋田こ牛品評会で、本町の三浦儀一郎さん（三木田）飼養の「うらひめ号」が見事優等賞を獲得しました。

合川町からは五頭が出陳され、成田是二さん（増沢）の「せいこ号」、疋田勲さん（上杉）の「あきひめ号」も二等賞を獲得、また団体の部では合川町農協に十年来という貴重な団体賞一位をもたらしました。

これも、日頃の手入、飼育方法、牛への愛着が実ったもので、見事な快挙となったものです。



優等賞を獲得した「うらひめ号」

歳入の主なものは、議員、農業委員、町三役の報酬などの引上げや伝染病予防・ゴミ収集事業費の追加などとなっています。

固定資産評価審査委員会委員の選任について

合川町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い。桜田耕一（東根田）さんを再選、議会の同意を得たものです。

集団登校を指導

合川東小ＰＴＡ

合川東小学校ＰＴＡ（会長工藤久男）では、今年の重点活動として、児童の集団登校の安全指導をとり上げました。

これは、会員が各部落ごとに当番を決め、最低一ケ月一回、児童の集団登校指導を行なおうとするものです。

部落ごとに、一ケ所から四ケ所位の指定地区を決め、会員が町の交対協から贈られた、交通安全の旗をもち、「注意して行きなさい。」と注意を呼びかけております。

自分たちの安全は、自分たちの力で守ろうという強い意欲が、住民運動として表われていることは喜ばしいことです。

父兄に見守られながらの集団登校

保険証を早く更新してください

役場保健課では、去る四月一日より国民健康保険証の更新を行っておりますが、今なお古い保険証を持っている人が大分あるようですので、新しい保険証を持ってない人は直ぐとりかえて下さい。

古い保険証では、医者へいった場合全額をとられます。また、七月に税金の賦課もありますので、人数なども調べなければなりません。とりかえない人は役場の現在数で賦課になります。

早く保険証をとりかえましょう。（保健課係）

猿倉人形が海外公演

今秋ヨーロッパに渡る

古くから私たちに親しまれてきた当町の誇る〝猿倉人形劇〟がこの秋はるばる海を越えてフランスに渡航し、アチラの人たちに人形劇を披露することになりました。町でも、さきほどの議会で費用の一部として六十万円を補助することなどをきめましたが、いま関係者の間で着々と渡航の準備が進められております。

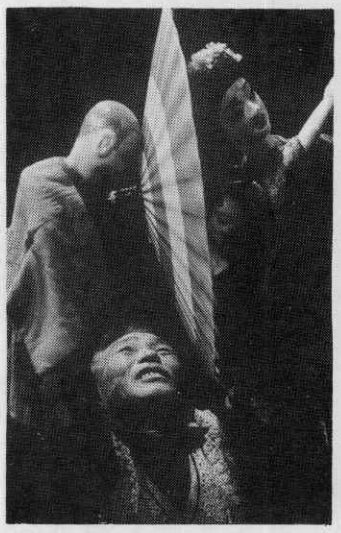
渡航することになったのは増沢に住む、人形師吉田千代勝師＝本名杉渕喜代三さん（六五）＝妻ハルさん（五八）夫婦で、去る五月来日したチェコスロバキャ功労芸術家、国際人形劇連盟（ウニマ）書記長のヤンマリク博士が、北海道講演の帰りに日本人形劇連盟の川尻氏とともに吉田師を訪ね、猿倉人形劇を観賞したのがきっかけとなったものです。

吉田さん夫婦のすばらしい人形劇に感嘆したマリクさんは同行の川尻さんを通じて今秋九月下旬パリで開かれる国際人形劇連盟第十一回大会と並行して行なわれる国際フェスティバルへ日本代表として出演を要請したところ吉田さん夫婦もこれを快く引き受けたものです。

吉田千代勝さんは由利郡矢島町に生まれましたが、若い頃たまたま同地に巡業に来た若丸師のみごとな人形あやつりにひかれ、十六才のときに弟子入りし、さらに二代目勝若師のもとで芸にみがきをかけました。

その後、縁があって増沢の杉渕家に婿養子となってからも、先代ゆずりの人形に工作をして目、鼻、口、マユ毛などが自由に動きまたチャンバラの場面では電気をとり入れ刀の先から火花を散らすなど、彼独特の工夫をこらし現在の猿倉人形劇を完成させましたが、レパートリーとしては〝岩見重太郎ヒヒ退治〟〝鬼神お松七変化〟〝弥彦明神利生記〟〝貫徹和尚のからかさ踊り〟などがありますが、とくに〝かさ踊り〟はその人形の使いぶりがあざやかで各方面の絶讃を博しております。

夫婦で人形を使って四十余年、この間いろいろな苦労も多かったのですがいまようやくこの苦労に報われる機会が訪れたわけで、吉田さん夫婦は九月十日羽田を出発、モスクワ、フランクフルト、プラハ、ロンドンの人形劇場で交歓の後フランス入りするもので、目下渡航準備と人形の手入れ、芸の修練に忙しい毎日を送っております。（杉）



熱演を演じる吉田さん
―貫徹和尚一場面―

県青年海外研修（ソ連）団員決定

本町より後藤君と三浦さん

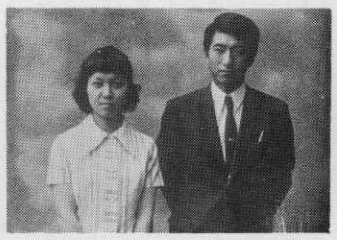
立県百年記念事業として県が今年からはじめた、海外派遣研修生（ソビエト）に当町の後藤隆君（下杉）と三浦鉄子さん（三木田）の二人が選ばれました。

これは海外派遣によって、国際的視野を広め、郷土秋田の建設に若い力を反映させることを目的として設けられたもので、両名とも農業あとつぎの会、青年会と青年団体において現在活動中であり期待されている人たちです。

コースはシベリア、モスクワとなっており一行は八月十四日秋田港を出発、農業関係施設・美術館見学また青年団体と懇談会・スポーツ友交会と日程がびっしり組まれ、二十七日秋田着の予定となっております。

訪ソ団員として選らばれた二人は「まだ漠然として実感がわいてこないが、青年団体と多いに語り合い交流を深めたい。

民族、思想・言語はまったく違うが若者としての底辺に流れるものは同じ物と思うので、その中から少しでも地域に反映させる何かをつかんできたい」と語っておりました。



三浦さんと後藤君

寄贈

社会福祉事業の運営に対しまして、次の方々から暖かい善意の御寄贈がありましたので、広報紙をもって感謝の意を表わしたいと思います。

社会福祉法人
合川町社会福祉協議会

○建築技能者ジュニアコース（合川町）立て札五枚・青少年の森
○増沢寿クラブ
雑布五〇枚・北保育園
○全林野合川分会
桜木二本・ことぶき荘
○疋田要造（上杉）
ぶどうの木一本、ことぶき荘
○成田哲郎（下杉）
しだれ桜二本・ことぶき荘
○米倉豊夫（東京都）
五〇万円、ことぶき荘

ありがとう

善意のご寄付

次の方々から、故人の香典返しにかえて尊い浄財の寄付をいただきました。

町の社会福祉事業の基金に繰り入れ、有効に役立たせることにいたしました。

紙上を通じて厚くお礼申し上げます。

（社会福祉法人・合川町社会福祉協議会）

○斉藤ハル（美栄）
夫・利助さんの香典返しにかえて五千円
○村形勇吉（川井）
父・政吉さんの香典返しにかえて一万円
○福田テル（鎌沢）
長男・豊一さんの香典返しにかえて五千円
○沢藤伝三郎（木戸石）
母・ツエさんの香典返しにかえて一万円
○福岡勝治（駅前）
妻ハルエさんの香典返しにかえて三万円
○木村兵作（李岱）
母・キミさんの香典返しにかえて七千円
○松橋重夫（三里）
父・春次さんの香典返しにかえて七千円

慶弔だより

自5月1日 至5月31日

○おめでとう、ご健康をお祈りいたします。

石川展子・勝也長女（駅前）、藤島正彦・実長男（木戸石）、疋田尚人・貞夫二男（駅前）、成田隆志・政志長男（李岱）、佐藤知佳子・勝治二女（川井）、杉渕大・正国長男（増沢）、佐藤道義・勇二男（川井）、関文武・明長男（駅前）、村形健・順一長男（川井）

●謹んでごめいふくをお祈り申し上げます。

福田豊一・テル長男（鎌の沢）、斉藤利介・本人（美栄）、福岡ハルエ・勝治妻（駅前）、村形政吉・本人（川井）、沢藤ツエ・伝三郎母（木戸石）、庄司久一郎・本人（下杉）、松橋春次・本人（三里）、木村キミ・兵作母（李岱）、佐藤キヌ・三蔵妻（李岱）

身体障害者の職業訓練生募集

身体障害者で義務教育修了者またはこれと同等以上の学力のある人。

障害の程度は、盲、ろう唖、てんかん、伝染病疾患者、病状の固定していない人、以外の人で一年間の訓練に耐えられる人。

期限　四十七年八月三十一日まで

申し込み先
鷹巣職業安定所

恐しい農薬の害

農薬を使う機会が多くなって、それによる中毒がふえてきました。どんな場合に中毒を起こしやすいかをみますと、

①本人の不注意による時
②からだの具合が悪い時
③服装が不完全な時
④散布したあとの農薬の後始末、保管が不十分な時

農薬の使用に当っては良く注意書を読んで正しく使いましょう。

みんなの声

町政モニター

目立つ路上駐車

問　自動車の路上駐車があまりにも多いと思います。

安全協会はもちろん、町当局としても何か強い行政上の指導を要望いたします。

意見――→土地を買収して貸し与えるとか

（五〇代・商業・李岱）

総務課の意見

路上駐車の取締りは権限外でありますが、取締り当局ともよく連絡をとりながら、指導隊員等とともに路上駐車の減少につとめます。

町で、借りている駐車場がありますが、積雪等で十分利用されていないのが実情でありますし、また駐車場に置いた車に悪質なイタズラをされた事実があり、どうも敬遠されがちです。

この対策は、今後の検討課題となります。

土曜日も給食を

問　今年、はじめて中学校に子供を入学させました父兄の一人です。

中学校では、給食があって大変よろこんでおりますが、一週間のうちで土曜日給食がないのはどうしてでしょうか。

土曜日も給食があってほしいと思います。

（四〇代・主婦・羽根山）

教育委員会の意見

土曜日は、給食用器物や機械の手入、清掃とエプロン、帽子、三角布等のクリーニング等をやっていますが、土曜日も給食をやることになると、日曜日にこれらの作業をやらなければなりません。

日曜日の出勤は、調理師の休養、また労働時間等の関係で、困難な問題もあるので土曜日の給食については今の所考えておりません。

〝火を使う人ならできる火の始末〟

立町十五周年を記念して行なわれている、合川町環境美化植樹は、今年も六月十日畠山町長を始め、町緑化推進委員や町職員の手で、営林署周辺一帯に、つつじ約二〇〇本を植付けしました。

この周辺一帯が、赤・白入りみだれて咲く、つつじの名所となる日も間近いものではないでしょうか。

たんねんに植付されるツツジ